

お知らせ

令和5年 8月28日

情報提供先： 島根県政記者会
出雲市政記者クラブ

志津見ダムでアオコが発生しました

【 アオコの原因種である藍藻(ミクロキスティス)を確認 】

令和5年8月24日(木)、志津見ダムの巡視中に貯水池内の一部(権現大橋付近)に緑色に変色している浮遊物を確認(レベル2)したため、同日採水し、顕微鏡により観察した結果、「アオコ」の原因種である藍藻(ミクロキスティス)が確認されました。

なお、現時点で志津見ダム貯水池および下流において、異臭や魚のへい死は確認されておられません。

今後も引き続き貯水池を巡視し、アオコの状況を監視します。

また、今後のアオコに関する情報は、国土交通省出雲河川事務所のウェブサイトでお知らせします。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

※志津見ダムでは、平成23年6月管理開始以来、ほぼ毎年同種によるアオコが発生しています。

【問い合わせ先】

国土交通省出雲河川事務所

総括保全対策官 池田 健二
志津見ダム管理支所長 篠原 仙充

電話 0853-21-1850 (出雲河川事務所 代表)

0854-73-0222 (志津見ダム管理支所)



「くにびきくん」
志津見ダムキャラクター

アオコ発生確認位置図

令和5年8月24日
巡視時刻 10:00~10:30

凡例(見た目アオコ指標)

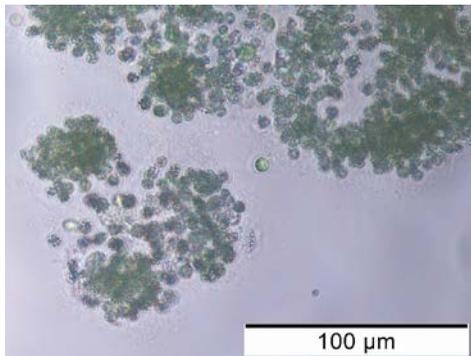
- レベル0
- レベル1
- レベル2
- レベル3
- レベル4
- レベル5
- レベル6

※見た目アオコ指標の詳細は
次項の参考資料をご覧ください。



戸井谷大橋から左岸

権現大橋から下流



藍藻類(ミクロキスティス)の顕微鏡写真



貝谷大橋から上流



【参 考】

	
<p>レベル0： アオコ発生は確かめられない。</p>	<p>レベル4： 膜状にアオコが湖面を覆う。</p>
	
<p>レベル1： アオコ発生が肉眼では確認できない。 (ネットで引いたり、白いバットに汲んで良く見ると確認できる)</p>	<p>レベル5： 厚くマット状にアオコが湖面を覆う。</p>
	
<p>レベル2： うっすらとすじ状にアオコの発生が認められる。 (アオコがわずかに水面に散らばり肉眼で確認できる)</p>	<p>レベル6： アオコがスカム状(厚く堆積し、表面が白っぽくなったり、紫・青の縞模様になることもある)に湖面を覆い、腐敗臭がする。</p>
	<p style="text-align: center;">見た目アオコ指標</p> <p>湖内で一番集積量の多いところ、多い時間帯でその量を以上のようなレベルで分ける。</p> <p style="text-align: center;">国立環境研究所 霞ヶ浦研究会</p>
<p>レベル3： アオコが水の表面全体に広がり、所々パッチ状になっている。</p>	

出典：国立環境研究所「見た目アオコ指標」